

## 会 議 事 録

1 会議名	平成28年度第1回長岡市障害者自立支援協議会
2 開催日時	平成28年7月8日（金曜日） 午後1時30分から午後4時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委 員) 相崎 隆一 委員 足立 裕介 委員          荒川 和也 委員 生方 清司 委員          江口 道夫 委員 大塚 直貴 委員          小黒 修一 委員 桑原 健司 委員          桑原 拓 委員 木間 貞子 委員          小林 薫 委員 佐藤 隆司 委員          土田 清海 委員 永島 圭子 委員          吉荒 正次 委員 吉原 智幸 委員          和田 剛 委員</p> <p>(事務局) 福祉課長 福祉課長補佐 福祉課障害活動係長          福祉課障害支援係長          福祉課障害者基幹相談支援センター長          ほか関係職員</p>
5 欠席者名	松野 文子 委員
6 議題	<p>(1) 会長・副会長の選任について          (2) 長岡市障害者自立支援協議会の運営体制について          (3) 長岡市の障害者福祉の状況について          (4) 情報共有          (5) その他</p>

7 審議の内容	
発言者	内 容
障害者基幹相談支援センター長	<p>お忙しい中ご出席していただきましてありがとうございます。これより平成 28 年度第 1 回長岡市障害者自立支援協議会を開会いたします。私は本日司会を務めます長岡市障害者基幹相談支援センターの丸山です。よろしくお願ひします。なお、報道機関からの取材の申し入れがありましたので、今回は事務局の方で許可いたしましたのでよろしくお願ひします。</p> <p>まず、本日の会議の欠席のご連絡をいただいている委員についてご報告いたします。委員名簿 15 番の松野委員から欠席ということで連絡が入っておりますのでよろしくお願ひします。</p> <p>資料の確認をしたいと思います。次第については研修会でお配りした次第になります。席の方に今回用意させていただいたものについて、まず配席図、次に委員名簿、次に資料 No. 1 協議会の構成図、それから資料 No. 2 課題等報告書、それから資料 No. 3 - 1 から 3 - 3 までの 3 枚で障害者福祉の状況、それから資料 No. 4 基幹センターの役割・機能、資料 No. 5 協議会開催要領、最後に長岡市障害者差別解消支援地域協議会についてというものになります。その他、後ほどの情報提供というところで、学校の方からの資料を何点か置かせていただいております。</p> <p>それでは始めに、このたび新たな体制となり委員改選がありましたので、委員の方々から、その場で一言ずつ簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。名簿の順で桐樹園の相崎委員様からお願いしたいと思います。</p>
委員	(自己紹介)
障害者基幹相談支援センター長	<p>ありがとうございました。それではお手元の協議会次第によりまして議事を進めて参ります。</p> <p>まず始めに、会長・副会長の選任についてです。会長、副会長については協議会開催要領第 5 条第 2 項の規定により委員の互選により選出するとされています。ご推薦等がありましたらお願いします。</p>
委員	(意見なし)
障害者基幹相談支	委員の皆様から推薦等の声がないようですので、事務局からの推薦

援センター長	をさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
委員	(賛成の声)
障害者基幹相談支援センター長	それでは、事務局からの提案としまして、桐樹園の相崎委員を会長に、あゆみの舎の永島委員を副会長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	(拍手)
障害者基幹相談支援センター長	皆様異議なしということでございますので、会長は相崎委員に、副会長は永島委員に決定いたしました。それでは相崎会長、永島副会長は会長・副会長席にご移動をお願いいたします。
会長・副会長	(席移動)
障害者基幹相談支援センター長	それでは、会長、副会長から改めまして一言ずつごあいさつを頂戴したいと思います。お願いします。
会長	<p>改めまして、皆さんこんにちは。よろしく願いいたします。今ほど会長の役を仰せつかりました相崎と申します。先ほども申し上げたんですが、本当に障害系が初めてでですね、お役にたてるのか非常に不安でプレッシャーを感じております。ただ、こうやっっている関係団体の皆様、本当にベテランの方も大勢いらっしゃいますし、専門職として活躍されている方もたくさんいらっしゃいますので、皆さんのお力を借りて、この協議会が上手く成果の上がるものになるように努めていきたいと思っております。</p> <p>先ほどの研修の中で最後の方に講師の方から、この協議会のメンバーが今すぐ顔がつながることと、それから次の段階、やっぱりお互いの考えてることとか思考がつながることが非常に大事だというお話もいただきました。是非、年2回程度の会議だということではあるようですけども、こういった機会にお互いに顔をつないで、お互いに考え方をつなぎあって、それこそ地域でお暮らしの障害者の皆様や施設でお暮らしの障害者の皆様のために、ほんの少しでも何か役に立てるような成果を残せばなという風に思っておりますので、微力ながら精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>

副会長	<p>す。</p> <p>永島と申します。改めてよろしくお願いいいたします。私は障害者に関わって今9年目になっております。それこそ合併前の時は三島町にありますあゆみの舎というところが、長岡市と合併しましたので、長岡市の地域活動支援センターという形で働かせていただきました。本当に利用者と密に仕事をさせていただいてるんですが、やっぱりみんなの気持ちがだんだんと明るくなって、仕事の雰囲気良くなっていくような生活が続くといいなという形で毎日関わらせていただいております。私がこういう会議に参加させていただいて、多少でも利用者や保護者と話す言葉の中のいろいろなところで、関わってくださってる皆さんが発展的なところを持ってくださるといいなと思ひましてこの会に参加させていただいているような感じです。とても大きな会議っていうのはあまり得意ではないですし、不慣れですし、皆さんの足を引っ張るようなことになるかもしれませんが、がんばってやっていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
障害者基幹相談支援センター長	<p>ありがとうございました。</p> <p>協議会開催要領第6条第1項の規定により協議会の会議は会長が議長となることとされていますので、これ以降の議事進行は相崎会長からお願いしたいと思ひます。相崎会長よろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>はい。それでは皆さんよろしくお願いいいたします。これから会議について、皆さんちょっと次第の方をご覧いただきたいのですが、まず、今日の議題につきましては4番、5番と6番の情報共有ということで3点挙げていただいております。会議の時間についてはですね、一応目安は何時ごろまでに終わりたいとかっていう事務局の気持ちはあるんですか。</p>
障害者基幹相談支援センター長	<p>3時半頃に終わればと思っております。</p>
会長	<p>わかりました。それでは議事につきましては皆さんスムーズな運営にご協力お願いいしたいと思ひますが、でもこうやってせっかく集まっている機会ですので、一つ一つこれから事務局の方からその内容について説明があると思ひますので、皆さん本当に遠慮されずにご質問、ご</p>

障害者基幹相談支援センター職員	<p>意見あったら、せっかくの会議ですので、ぜひ出していただければなという風に思ってます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まず一つ目の議題に入りたいと思いますが、長岡市障害者自立支援協議会の運営体制について、事務局の方から説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(資料 No. 1、2により説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。事務局の方から協議会の方と部会の対応について説明をいただきました。今いただいた説明について、委員さんの方から何かご質問やご意見はあるでしょうか、という前に私から質問してもいいですか。</p> <p>イメージは今の説明でだいたいわかりました。で、お話を伺った時に、全体会なんで、最後の情報共有と報告の場があるということだけれども、委員もそれぞれ専門職の皆さんでいらっしゃるの、課題があったらそもそも教えて欲しいと。で、その運営会議のところは非常にこの役割としてはまず大きなポイントになってくるんだろうと思っているんですが、メンバーについては今の説明とこれから選びますよということではあるわけですが、もし今の段階、例えば、こういう立場の方、分野の方とかっていうイメージがあったら聞かせていただきたいなと思うことと、後半の方でこの運営会議のメンバーも途中でチェンジする可能性があるという説明があったように聞こえたんですが、多分、私のイメージからすると、ここはあまり変えない方がいいのではないかなという風な思いがあって、やっぱり核になるところなので、きちんといろんな分野から出てきた課題をしっかりと見極めて、ワーキングするように作るのか、部会に投げるのかというところを調整する機能としては固定のメンバーでいった方がいいんじゃないのかという風に思ったことが一つ、それから、ちょっと戻ってその全体会が各課題をワーキングチームを迎えて検討して、それを取りまとめて一つの方向性を出しましょうということなんですけど、全体会の方が情報共有と報告の場と書いてあるので、そうすると、その言葉だけで聞くと、「はい、話は聞かせていただきました」と、「そうになりましたか」ということだけで終わるようなイメージがあるんですが、これはきっとそうではなくて、それを踏まえて、改めて全体会として何か意見があったり、方向性をもっとこういう風に考えて欲しいってことが</p>

障害者基幹相談支援センター職員

あれば、これは全体会の中でも議論討議しても構わないという理解でいいのか、まず聞かせてもらっていいでしょうか。

はい。ありがとうございます。では、一つずつ回答させていただきたいと思います。

まず、運営会議のメンバー現状考えている方なんですけれども、まず地域の相談支援事業所こちらの方、それとですね、先ほど申し上げたように圏域のセンターということで新潟県の委託を受けた中越圏域の支援センターというものがございますので、本日委員でご参加いただいている、就業・生活支援センターこしじさんですとか、柏崎にある茨内地域生活支援センターさんですとか、あと長岡療育園さん、この辺にお声掛けをさせていただきたいという風に、現状まだ決定ではございませんが考えているところがございます。またですね、地域の実際のサービスの実態というものをよくご存じの方ということで、先ほどサービス提供事業所ということでさせていただきました。サービス提供事業所も今どういった方がいるのかというのを検討している最中ではございますが、複数の事業所の方から現場をよく知ってる精通している方ということで入っていただきたいという風に考えております。ここに事務局の基幹相談支援センターを合わせたメンバーでスタートしたいという風に考えております。

また、そのメンバーの入れ替わりというか、もしくは追加という言い方がいいのかもしれないかもしれませんが、先ほど説明の中で運営会議・専門部会・ワーキングについては、当初メンバーで固定ではなくて、随時変えさせていただきますよというようなお話をさせていただきました。ただ、会長の方からもご意見いただいたように、どちらかというとどんどん状況によって変えていきたいと思っているのは専門部会とワーキングの方がそういった色が強くなってくるかと思います。運営会議につきましては、先ほど申し上げたメンバーというのを基本として動いていきたいと思っておりますが、ただその中で、やはりその課題について検討する、進捗管理を行う、その中でワーキング立ち上げの判断ですとか、そういった中で必要と感じた場合にはですね、そのメンバーのあり方というのでも検討させていただきたいという風に考えております。

それと自立支援協議会の役割というところで、主な役割としましては、報告を受けていただいて、それをまたそれぞれの機関で持ち帰っていただいて共有していただきたいというようなことで説明をさせて

	<p>いただきましたが、会長のおっしゃられるように意見を述べないとか、話し合いにならないとか、そういったことではございません。やはり報告をこちらからもさせていただく中で、ご意見必要なものについては、どんどん積極的にいただきたいと思ひますし、課題解決に向けた何かご提案ですとか、いろんなことがこの中でもしいただけるようであれば、事務局としましても非常にありがたいことではございますので、また活発なご意見をいただきたいと思ひております。以上になります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ほかに皆さんいかがでしょうか。ご意見、ご質問がありましたら遠慮なく挙手していただければなと思ひますが。よろしいでしょうか。今思いつかないものでも、最後の方にまとめてもし何かご質問等があれば、聞かせていただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、次の項目に移りたいと思ひますが、次が長岡市の障害者福祉の状況についてという議題になっておりますので、こちらについて事務局の方から説明をお願いいたします。</p>
<p>障害活動係長</p>	<p>(資料 No. 3-1・2・3 により説明)</p>
<p>障害支援係長</p>	<p>(資料 No. 3-1・2・3 により説明)</p>
<p>障害者基幹相談支援センター職員</p>	<p>(資料 No. 3-1・2・3、4 により説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今、障害者福祉の長岡市内の状況について説明をいただきました。今、説明のあった内容について、皆さんの方でご質問やご意見ございませんでしょうか。</p>
<p>A委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。</p>
<p>A委員</p>	<p>あの、私は全く、それこそよく分からないで素人の関係もありまして、お聞かせ願ひたいと思ひます。まず、一番最初に説明のありました身体障害者の等級ですね、この等級というのは1から6とありますけれども、重度なのはどちらの方なのか、6なのか1なのか。それからもう一つ分からないのは療育、私もちょっと中身がわかりませんの</p>

障害活動係長	<p>でお聞かせ願いたい。</p> <p>はい。ありがとうございます。まず等級の部分ですけれども、数字の少ない1級の方が重いです。数字が上がるにつれて等級というか障害の重さは軽くなっていくというような形になります。療育手帳ですけれども、こちらは知的障害の方がお持ちの手帳ということになります。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>よろしかったでしょうか。</p>
A委員	<p>はい。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他に皆さんの方で何かご意見、はい。</p>
B委員	<p>先ほどの障害サービス別利用者数の中で、就労移行支援と就労継続支援B型の話が出たと思います。資料3-1・2・3を見ると、年々と就労移行の利用者数が減って、継続支援B型の方が増えてきています。障害支援係長も検討していきたいとおっしゃっていたので、是非進めていただきたいと思いますが、就労移行が減ったからといって、長岡市内の障害のある方が就職していないかというところではないかと思っております。ハローワークさんの方が詳しいと思いますが、長岡管内の方でも就職者は増えてきていると思います。就職者は増えてきているのに就労移行の利用者数が減っているということは、相反している部分なのか、どういう理由があるかわかりませんが、その辺りも含めて労働機関や、福祉機関だけではなく、なぜ減っていて、減っているのはどう対策していったらいいだろうかというのは、是非いろんな関係機関と連携しながら協議して進めていただければいいなと思っております。我々も必要に応じて協力していきたいなと思っておりますのでよろしく願いいたします。以上です。</p>
会長	<p>事務局の方は何かよろしかったですか。</p>
障害支援係長	<p>B委員の方から貴重な意見ありがとうございます。確かにこういった要素があって、数字だけ見ると本当にこう実際どうだったっていうところが正直あります。なので今おっしゃっていたいろんな機関のいろんなそれぞれの立場の方のいろんな意見を聞かせていただいた中</p>

<p>会長</p>	<p>で、また来年度第5期の障害福祉計画の策定の年度でございますので、それに向けて皆さんからいろんな貴重な意見をいただければありがたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>よろしいですか。私も分からないながらにその話を聞いているときに、いろいろこう、スタートは就労継続Bはだめだとかいう話があったり、非常にこう、今の最後の話でいえばミスマッチがあるとしたらそれはどういう原因なのかっていうことをきちんと評価をしないと、実はその次の対応ってできないじゃないですか。たぶん今は現状、各事業所で、いやこっちの就労継続Aの方が少なくなっていて、就労継続Bの方が規模が多くなったり、就労継続Bでしかなかなか支援ができない人が多くなってくると、事業所ごとで判断をして定員の数を変えていったりっていうところもあるようですが、きっとそれって事業所の中での話であって、本来でいえば、全体を見渡した時にどういう希望の、あるいはどういうレベルの人たちがどれくらいいるかってことが先にあって、じゃあどういうコースの定員が何人くらいあったらいいかって、まさにこういう自立支援協議会で議論すべきような課題だと思いますので、是非これから検討を一緒にお願ひしたいなという風に思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>ほか、皆さんいかがでしょうか。</p> <p>私、聞いてもいいですか。障害者虐待の報告がありました。先週、今週入ってからなのか、今日だったりもその入所の施設でもいろいろ虐待ケースがあったという報告を受けているんですが、虐待の話っていつも出てくるのは、ここの数字に出てるのは本当に氷山の中如果说、本当に海面の上に出てる部分だけ、それのごく一部だと思うんですよ。当然、サービス事業所の方もその水面にあるなかなか意図しない虐待であったり、不適切なケアであったり、もっとポジティブに言えば権利擁護という立場、視点でどう対応していくかってことをしっかり考えながら虐待防止に務めていってるつもりではいるんです。その辺りというのは、行政の立場からしたときに、この水面下、この部分にはどういう風に取り組んでいこうという風に思っているのかを、取り組んでいるものがあればですね、是非聞かせていただきたいなと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター職員</p>	<p>ご質問ありがとうございます。今現在取り組んでいるところということなんですが、各事業所さんの方で様々な障害者虐待に関する研修</p>

	<p>会を行いたいというご相談があるときには、私ども職員の方が出向いてご説明をさせていただいております。また年に一回なんですけれども、虐待に関する研修会というのを実際に行っておりまして、今までの虐待の状況ですとか、もろもろからどんな部分を皆さんと一緒に共有したらいいのかなというのを考えさせていただいて、昨年度は強度行動障害のある方が、やっぱり家族も困っている、本人も困ってるってことで、虐待につながりやすいんじゃないかということで、研修をさせていただいたりという取り組みを行っております。まだまだ取り組みとしては不十分な点もあるかと思しますので、また皆さんの方からもこんなことをするといいんじゃないかなってという点、またご意見いただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>在宅で暮らしていらっしゃる方についての虐待の取り組みとは、行政としては何かあるんですか。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター職員</p>	<p>はい。リーフレットなどを作りまして、皆さんの方に支給決定の際ですとか、そういう時にパンフレットを入れさせていただいたりですとか、あとそもそも事前に支援者が関わっているケースについては、ちょっとどうなのかなっていう早めの段階からいろんなサービスですとか、もろもろ見守り体制を入れて、これ以上ご家族の負担だったり、ご本人が辛くならないような取り組みをできるだけ早めに対応していくような心がけはしております。また虐待防止に関して、やっぱり早期発見ってというのがすごく大切だと思いますので、明らかに虐待かなと思わなくても早めには是非ご相談くださいというお願いを様々な場でさせていただいています。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>福祉課の小村でございます。今ほど齋藤が申し上げたようなことでだいたい網羅されているんですけども、私ども虐待の摘発とか取締りとかではなくて、いかに防止するかということが責務だろうと思っておりますし、ちょっとでもそういう兆候があったら、それを適切に対応していくということです。それでやはり防止するためには、少しでもそういう可能性を感じたら、私どもの方には是非ご相談をいただきたいと思っております。それは施設であろうと、在宅であろうと、それぞれのお立場で身近なところでそういう何かを感じ取ったら、それがもし違ったらそれはそれでいいと思いますので、皆様にもお願いしたいと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。本当に悲しい事件が起こらないように我々専門職も行政もなんとか力を合わせて、風通し良く情報共有をして、報告していくことも大事なと思います。</p> <p>他に皆さん何かご意見、ご質問はないでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは次の議題に移りますが、次の議題は情報共有ということで、これはとりあえず事務局の方に、どなたか情報提供したいという事業所さんおありでしょうか。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>各委員の方には、この会議で情報提供する事項はないか事務局の方からあらかじめ照会させていただいたところですが、今回、C委員の方から情報提供したいという申し出がありましたので、お願いしたいと思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>それではよろしく願いいたします。人が集まったところでは、宣伝活動をすることにしております。</p> <p>皆さんのお手元に青い「学校要覧」というものがあります。長岡市立総合支援学校は小学生、中学生世代の知的障害のある子が通っている学校になっています。児童・生徒数 108 名、職員数 108 名となっております。詳しくは「学校要覧」を見ていただければと思います。よろしく願いします。</p> <p>二点目です。長岡市立高等総合支援学校のスクールガイドです。「社会の中で私らしく生きていこう」これが学校教育目標です。学校が誕生して二年目になっております。中の方見ていただくと、当校がどんな教育を行っているかが見ていただければと思いますので、後でご覧いただければと思います。裏面をご覧ください。校歌が入っております。「世界でたったひとつの絵 作詞・作曲 平原綾香」となっております。平原綾香さんに学校に来ていただいて、生徒と交流して、その中で校歌を作っていただきました。高校世代にぴったり合った、これを聴くと保護者がつい泣いてしまうという校歌ができました。学校のホームページで校歌が流れるようになってますので、機会がありましたら、是非お聴きいただければと思います。</p> <p>三点目です。総合支援室というリーフレットをお配りしてあります。これは何かというと、長岡市立総合支援学校、それから長岡市立高等総合支援学校、両校の児童・生徒、それから卒業生を支援する支援室</p>

	<p>となっております。中をご覧ください。キーワードは「つなぐ」ということで、関係各所、皆様と児童、生徒それから保護者、他人など、つなぐということで仕事をさせていただいております。教頭の私が室長を兼ねております。メインで動いているのは、コーディネーターと支援員がおります。皆様とつながって児童、生徒それから卒業生のためにうまく動いていけたらいいなという風に思っています。これも後でゆっくりご覧ください。</p> <p>最後です。皆様のお手元にA4版の白黒で刷ったものがあります。これ私よりハローワークさんからお話しいただく方がいいのかなという気もするんですが、実はハローワークさんとの共催で、ご覧のとおり採用担当者、企業様からお越しいただいて、学校見学会を昨日開催させていただきました。それで、今朝ほどNHKさんで放映していただきました。内容としては、ここに記述してあるとおりなんですけれども、今NHKのホームページにアクセスすると動画を見ることができます。動画を見ると、「あっ、高等総合支援学校の生徒ってこんなことができるんだ」というところが見ていただけたと思いますので、今日のうちに是非チェックをしていただければと思います。ただ、ここに出てくる生徒は普通学級の生徒なので、すごく動ける生徒です。当校には訪問学級として在宅訪問学級、施設訪問学級もあります。それから重複障害学級の生徒もおります。医療的ケアも受けてる生徒がおります。いろいろな生徒がいる中でもこういう生徒もいるんだというところで、見て知っていただければありがたいと思います。以上です。お時間ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。あの、逆に質問させてもらってもいいですか。</p>
C委員	<p>はい。</p>
会長	<p>うちの支援センターの職員は、夏休み前になると支援学校、総合支援学校の方にいる生徒さんが、親御さんが共働きで、日中ね、行き場がなかなかないんだという話を聞くんですよ。我々もできる範囲で受け入れをしていこうという風に思いながら、もう一つが多分毎年、総合支援学校の卒業生のいわゆる行き場といいますか、具体的には高等部の皆さんは割とこうレベルが高い方が多いのかもしれませんが、例えば就労系のところとか通えるところとかがなかなかご本人、ある</p>

<p>C委員</p>	<p>いはいご家族の希望される日数、回数が確保できないと話を聞くんですね。これ非常に今大きな課題だと思っていて、その点について言えば学校の方としては思い、認識としてはどういう風に思ってもらえるんでしょうかね。簡単に困ってるのか困ってないのかという意見なんです。</p> <p>特に卒業後の進路については、すごく困っています。今、障害者の雇用率が2%ということなので、企業さんの方は採用の方向に動いてくださってるというようなところもあって、追い風かなとも思うんです。けれども、逆に障害の重たい生徒については、なかなか受け入れ先がない。中には一週間の中でも一週間まるまる受け入れてもらえるということではなくて、一日目はここ、二日目はここ、三日目はここ、なんていうような卒業生も実際にいるところです。当校でもそこはすごく問題だなと思っていて、校長が関係各所に回らせていただいて、実情を説明させていただき、何とかいい方向に行けないかということをお願いをしているところではあります。あと、実際、夏休み学校やればいいじゃないかというようなことになるのかなという感じもしますが、逆にその夏休み中は以前であれば週休二日ではなくて、週休一日とかのときには土曜日とかに研修を組むことがありましたが、夏休みに研修等が一気に詰まってきている状態になっています。なかなか児童、生徒の指導、支援にいき届いていないところが、皆様にご迷惑をかけているのではないかなという、そういう認識は持っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。本当に私のところも普段、身体障害者の方大丈夫ですので、そういいながら生活介護とか日中一時支援とかどうやってるっていう話で、今回支援センターから、その子は普通学校の特別支援学級の子どもさんなんです、日中・夏休みをうまく計画させてもらおうという話をしてるんです。私なんかもとときどき乱暴な物言いするんで、本当に預かってくれるところがなかったら施設の食堂でもなんでもいいから昼間そこにいてもらってね、ボランティアでそこにいましたって言うてもいいんじゃないかって思ってるようなくちもあるんですけれども、ただ一方でサービスとして考えたときは、当然、今言った生活介護、日中一時支援にしる、事業所としては市内にいくつかあって、でも定員があってもなかなか受け入れもできないという状況もあったりするわけですよ。そのあたりは非常に大きな課題なので是非これから検討をしていただきたいし、していきたいとい</p>

<p>障害支援係長</p>	<p>う風に思うのですが、そんな話を聞くと行政の方も地域の皆さんが聞いていられると思うのですが、その点についてどんな風なお考えをお持ちかちょっと聞かせてもらえればと思うんですけど。</p> <p>はい。今ほどのC委員の話は、今年の春、校長先生とかからもお聞きしてまして、それで先ほど申し上げた来年度の第5期の福祉計画の策定に向けて、本年度これからの動きになるんですが、生活介護に限らず、他の短期入所ですとか、今ほど言った日中一時ですとか、その需要と供給がマッチしてるのかどうかという、そういったところのサービスにおいては、これからそういった実態把握というか調査をやる方向で今準備を進めている状況です。中には、生活介護の話をいただいたときに、私どもだいが根詰めて確認したんですよ。それも数字のマジックというか、実際市内の生活介護の事業所の全定員を合わせると、現在、生活介護支給決定者数を上回っていて、単純に需要より供給の方が上回っていたんですよ。ただそれは、長岡市広いので、各地域ごとの利用される方の居住している場所がどの地域にいるとか、事業所がどこにあるとか、いろんな要素があるので、単純に利用希望者数と定員の数だけじゃ比較できない部分も当然あるので、そういった部分をより現状を把握するために先ほど言った実態調査をまずさせてもらおうと思ってます。あとは当然そういった現状を踏まえて、ニーズに応えられるような提供体制へ向けて、福祉計画をもとに、また場合によっては具体的な政策に反映させるとか、そういったことを今後やっていく必要があると考えております。</p>
<p>C委員</p>	<p>ありがとうございます。よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。どうぞ。</p>
<p>副会長</p>	<p>今この場では、ほぼほぼ障害者という形の話がされているかと思うんですが、別の方ですいません。ちょっと関わりがあって、障害児の方の放課後デイの利用者ということで、昨年度、私、子ども家庭課の方から情報をちょっといただいたようなところがあるんですが、放課後デイの利用したい方々がやはり多い状態なのに、利用する場所が定員等があっても利用できないような状態になっているということを知りました。お母さん方働いていらっしゃるし、学校が終わった後にどうやって子どもをどこに預けるのか、どうやって子育てを</p>

<p>会長</p>	<p>していくのかっていうところも含めて、ここの部分の中でも皆さんと一緒に考えていけるとありがたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。いずれにしても今、その対象者の方がいらっしゃるって、ニーズっていう必要性があるとしたら、その必要な数が整えられないことには、やっぱり地域で暮らすにしろ施設で暮らすにしろ幸せな暮らしにはできないわけですから、今いろんなご意見が出ましたけれども、是非これからその実態調査をまずしっかりとさせていただいて、さっきも出ましたようにミスマッチなのか絶対量が足りないのかっていうことも含めてまず分析をしていただいて、しっかりと計画をたてていただきたいと思いますし、また、我々事業所の方ももし必要があれば、それにはきちんとできることを協力していこうというスタンスも大事だと思いますので、そういう面では各事業所の皆さんについてもお願いしたいなという風に思います。</p> <p>今のことの他に情報提供で他の方もあれば手を挙げていただいても大丈夫ですか。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>はい。事前に頂いているのはこれだけですが、他にもあれば。</p>
<p>会長</p>	<p>もし他にご意見やご質問、それから情報提供ということで、皆さんの方でご発言がある方、はい。</p>
<p>A委員</p>	<p>皆さんもご存じでしょうけれども、昨日の読売新聞をお読みでしょうか。その中に人生案内、この中に書いてあること、これが今のすごく障害者についてのことが書いてありましたので、これについての質問なり、その意見ということでもって書いてあるのがありますけれども、ちょっと紹介してよろしいでしょうか。どうでしょうか。それともみんなこれ見てるからいいよということであればやめますけれども。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>どうぞ。お願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>お願いします。</p>

<p>A委員</p>	<p>よろしいですか。昨日の読売新聞のことですけれども、実は30代のパート女性です。第二子が早産の重度の脳性まひになりました。世の中に迷惑をかけてるといふ後ろめたい思いが頭から離れることはありません。療育があるため、私はフルタイムで働くことは難しい状況です。十分な収入を得て税金を納めるという社会人としての義務を果たせそうにありません。世の障害者のご家族と出かけるのも車いすが何台も連なっていくのは迷惑だと思い断ってしまいます。いろんなことに対して人目を気にし過ぎでしょうか。どうしたら誇りを持って生きていけるのでしょうか。週に一回ボランティア活動にも出ておりますが、心が満たされることはありません。こんな気持ちでは子どもに申し訳ない、かといって他の障害者のご家族に相談もできずにいます、ということが書いてありました。これに対して、大日向大学教授は答えているんですけれども、「まず、あなたにお伝えしたいです。お疲れ様です。あなたは本当ががんばっています。そしてあなたは社会や周囲に迷惑なんて決してかけていません。胸を張って生きてください。」ちょっと要約しますけれども、「障害のある子を持つ親が希望すれば働くことができるよう、環境も整備してと訴えていいのです。重い荷を背負っている人がいたら、みんなで支えあう社会を築くこと、それが人に優しい社会の基本です。助けを声に出して求めてください。出さなくてはだめです。親身になって寄り添ってくれる人が必ずいます。あなたの健気な姿に勇気づけられ、支え合う大切さを知る人がきっといることを信じてください。」ということで結んであります。このようなことが書いてありましたので、一つ参考にしてください。よろしくお願いいたします。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>ありがとうございました。その他ございますでしょうか。</p>
<p>D委員</p>	<p>長岡商工会議所の青年部としてでございますが、昨年3月にある障害のワークセンターさんに、経営者の集まりでございますんで、約300人近くのメンバーがいますけれども、意外と障害の方ですとかそういう雇用の部分のところで、企業といっても大・中・小・零といろいろとあるとは思いますが、大の超有名な会社様はそういう組織、人事制度ですとか、そういった詳しい方がいっぱいられるからいいんですけれども、中というよりも小・零とかがいった部分のところ</p>

	<p>では、あまり分からない方もいっぱいいられたので、お名前を言うと、ざおうさん、ワークセンターざおうさんの方でけっこう詳しい方がいられたんで、そこへ研修会というのか、そのような形で30名くらい集まりまして伺わせていただきました。結果的に非常に内容がわかりやすく良かったということで、分からなかいことがいろいろと分かったということで、あとで私の方に他の経営者の方から連絡がありまして、最終的に1人その後採用されたのかな、最終的な結果っていうのはいろいろ個人の問題もあるので聞かなかったですけれども、ご紹介させていただいたら1人そういう風に決まったりですとか、あと昨年秋にママさんカレー選手権っていう青年部でアオーレさんでイベントをさせていただいたんですけれども、その時にも6施設の方の事業所様からご協力いただきまして、出店の方をしていただきました。それに関してはカレーとかではなくてですね、パンですとかお作りになっていただいているお菓子ですとか、いろんなものを提供お店の方をやってですね、要は働いている姿を経営者、まあ経営者っていう言い方は失礼ですけれども、そういう姿を見ていただいて、やっぱりいいところをどんどんどんどん深めて距離を縮めるべきなのかなという風に思いまして、そういったような取り組みをさせていただきました。かなり距離は若干でも縮まったのかなと思いましたので、今後この会でどうなのか分かりませんが、もしそういう風なお話ございましたら、私の方から青年部の方の上の方に言いましてですね、今後のイベントとかとそれをいきなり作るというのもなかなか難しいので、もう年間行事っていうのは決まってるので、その中でこう組み入れながらですね、上手にやればいいイベント、いい何かこう改善ができるのかなと思いますので、ちょっとご提案といいますかご紹介でございました。よろしくをお願いします。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。その他に皆さんからの情報提供ございましたでしょうか。はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、続いてその他ということで事務局の方から何か連絡等ありましたらお願いします。</p>
<p>障害者基幹相談支</p>	<p>事務局の方から、長岡市障害者差別解消支援地域協議会のことにつ</p>

援センター長	いて、ご説明させていただきたいと思います。
障害活動係長	<p>福祉課障害活動係の五十嵐です。協議会の件で資料 No. ついてないんですけれども、横長、横向きの長岡市障害者差別解消支援地域協議会についてと書いてあるものをお出しいただければと思います。</p> <p>こちらの差別解消の協議会ですが、今年度からの新しい立ち上げということで、今年の4月1日から障害者差別解消法というものが施行されまして、それを受けてその中で地方公共団体がこういった委員会を組織することができるということに基づきまして、これから立ち上げをしていくというものであります。紙の左上、目的というところから説明をさせていただきますが、具体的には目的としては地域における障害者差別に関する情報の共有ということと、それぞれ関係機関が連携することによって差別解消を推進をしていきたいと思います。関係機関、右の表のとおりであります。行政機関のほかです、関係機関・団体等ということで今日ご参加いただいております当事者団体の方、あるいは福祉、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会ということと医師会、民間の企業さん、人権関係ということで団体の方々ということで参画をいただきまして構成をしていきたいという風に思っております。協議内容といたしましては、(1)と記載してありますが関係機関の連携、それから(2)として情報共有ということでもありますけれども、こちらが協議の軸となるものということで考えております。具体的には各構成機関で抱えているような障害者差別というところでの課題があれば、この協議会のネットワークを活用していただいて、専門機関へ相談として解決を図るであるとか、障害者差別解消法においては不当な差別的取扱いが禁止されるということと、合理的配慮ということではあるんですけど、例えば、段差があってそれを全部解消しないといけないかというところではなくて、そこはそこに働いている方が、例えば車いすを上げてあげてそういった配慮をしてあげましょうということになるんですけども、そうしたものが行政機関あるいは民間事業所、法的義務あるいは努力義務ということでされますので、そういった各構成機関の取り組み状況を共有すること、あとは実際にあった相談事例を共有することで各構成機関ご自身の取り組みにつなげていくということを想定して開催することということになります。合わせまして、差別解消のための取り組みについて、この協議会のネットワークを通じて周知活動、啓発活動もしていくということで考えております。今年度の会議の予定としては、第</p>

	<p>1回目を8月9日に開催するというので準備を進めております。第1回目につきましては、顔合わせであるとか法律自体の概要説明ということがメインになりますが、年度末に開催する予定でおります第2回の会議においては実質的な事例の共有であるとかということをしていきたいと思っております。ということで個別の相談ケースを協議会として取り上げていこうとか、あとはこれが差別的取扱いですよねというような感じで判定をするようなところではないですけども、関係機関でのネットワークを通じて地域の障害者差別のための取り組みの底上げを図ることが大目標であります。様々な話がこの協議会の中で出やすいよう運営をしていきたいという風に思っております。また、こちらの障害者自立支援協議会にも、その都度状況の報告はさせていただきながら、連携するところはしていきたいという風に思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。今の説明に何か皆さんご質問、ご意見等ないでしょうか。よろしいですかね。</p> <p>それでは、今日予定された議事についてはこれで以上になります。大変長く延長戦をしていただきました。ありがとうございました。それでは進行の方は事務局の方へお返しします。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター長</p>	<p>大変ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、小村福祉課長よりあいさつを申し上げます。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>皆さん、本日は長時間に渡りありがとうございました。活発なご議論をいただきまして、とても嬉しく感じています。障害者をめぐる課題というのは、本当にたくさんまだまだ解決しなければいけない課題があるという風に認識しております。その中で私どもとしては、今年度、地域への生活の移行とか、あとやはり何よりも就労ということをですね、やはり大きな課題だという風にとらえておりまして、福祉部門だけじゃなくて、例えば就労だったら商工関係の方々とか企業の方々、様々なところと連携を強くしてやらないと、流れを大きく作らないと、今こう断片的にそれぞれがそれぞれの立場で一生懸命取り組んでいるという状況だと思うんですが、それをやはり大きな流れでより効果的なものにしていきたいという風に考えておりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>

障害者基幹相談支  
援センター長

それでは、事務局の方から二点連絡がございます。

一点目ですが次回の協議会の開催時期についてですが、現時点では次回は1月か2月ごろに開催と考えています。また時期になりましたら事務局の方からご案内を差し上げますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

二点目ですが、駐車券の方、お出しただいたかと思ひますけれども、忘れずにお受け取りになつていただきたいと思ひます。以上です。

これもちまして平成28年度第1回長岡市障害者自立支援協議会を閉会したいと思ひます。本日はどうもありがとうございました。